

第31回全国身体障害者野球大会

(NPO)日本身体障害者野球連盟

2023年5月13日

9:00～
開会式
10:00～
競技開始

2023年5月14日

9:00～
競技開始
17:00～
閉会式

■会場

ほっともっとフィールド神戸
G7スタジアム神戸
神戸市立若葉学園



選手宣誓は5年ぶりの出場
となる滋賀ビックレークの
井上 光紀選手。
若手エースの近いが球場に
響き渡りました。





ご来賓の皆さま
ありがとうございました



全国16チーム
が対戦

日々の練習の
成果をぶつけ
合う二日間



1 days

待ちに待った大会の開催。
この日のために整備されたグラウンド
で始球式から第一試合試合がスタート。
ENEOS株式会社 広報部企業スポーツ
室長 菊池 明人様にボールと一緒に
応援の気持ちを届けてもらい、
熱戦がはじまります。





東京GVS 京都

3対4 京都勝利

今大会最初の試合であるこの試合。1回は両者ともに2点を獲得し、一進一退の攻防が見られました。最終回1点を追う京都でしたが、デッドボールで逆転勝ちをおさめました。



名古屋VS大阪

4対0 名古屋勝利

1回、2回は両者ともに0点と、静かな立ち上がりを見せました。しかし、3回裏に均衡が崩れ、名古屋が2点先取。続く4回でも名古屋が2得点を獲得し、大会2連覇の強さを見せつけました。



千葉VS高知

6対0 千葉勝利

世界大会選抜メンバーの土屋選手の所属する千葉ドリームスター。今まで以上に練習試合を重ね、実践に力を入れているとのコメント。1回に4点、2回に2点獲得し、日頃の練習の成果を実感できる試合でした。





北九州VS仙台

10対1 北九州勝利

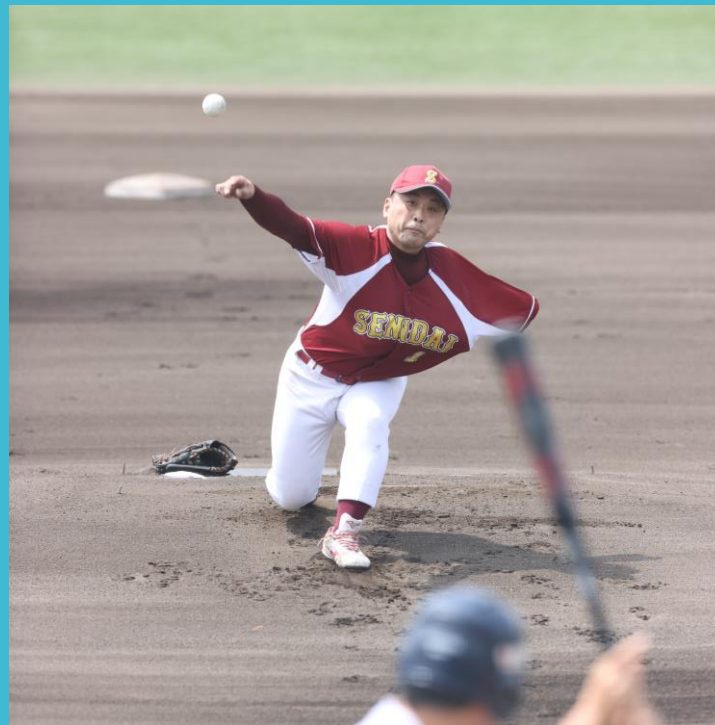
1対0でこのままじりじりとした試合となるかと思われたところ、3回に北九州の打線がつながり一気に9点が入りました。仙台も1点を返しましたが、勝利には至りませんでした。



神戸VS東京B

4対4 東京勝利

最終回4点差を追う神戸。雨が激しく降る中、制球に苦しむ投手に4点獲得する追い上げを見せて同点まで持ち込み、同点じゃんけんにより東京Bの勝利となりましたが、雨雲を吹き飛ばす実力の拮抗した試合に観客も大いに盛り上がりました。



福島VS岐阜

1対6 岐阜勝利

1回に2点、2回に4点と好調な滑り出しを見せた岐阜。福島も負けじと調子を上げていき、3・4回は無失点で抑えましたが、得点には至らず、岐阜の勝利となりました。



岡山VS滋賀

12対0 岡山勝利

昨年の全日本選手権の覇者岡山。対する滋賀は5年ぶりの全国大会出場だったが、やはり壁は厚かった。しかし、選手は皆全力プレーでぶつかり、最後は次回への意欲と笑顔を見せました。



龍野VS広島

1対8 広島勝利

本日最後の試合。雨の中、待ちに待った想いと共にボルテージマックスで始まりました。昨年の全国大会でも戦ったこの組み合わせが再びやってきました。その際は4対0で負けてしまった龍野でしたが、今回は1点をもぎ取ることになりました。

雨が降り中止があやぶまりましたが、選手やスタッフの協力もあり、時間通り1日目の試合を終えることができました。





懇親会

あま福祉会より
世界大会の日本代表チームにサイドバックの贈呈が
ありました。日本代表チームの松元主将が挨拶をしました。
皆でユニフォームを脱いで、お互いの健闘を称えあいました。



2 days

2日目の第一試合がはじまります。
去年に引き続き、今年も地元の少年野球チームが
応援に駆けつけてくれ、始球式を行いました。
5チームのバッテリーと打者が並び、ボールを届け
てくれる壮観さと喜びが再び。





京都VS千葉

3対2 京都勝利

1回裏で2失点と苦しい立ち上がりとなった千葉でしたが、4回表で維持の2点獲得、同点に並びました。しかし、4回裏で京都のサヨナラホームランで得点を取られ、惜しくも敗退となりました



北九州VS岐阜

5対0 北九州勝利

全国大会、全日本選手権常連の古豪チーム北九州でしたが、3回まで1得点のみと岐阜の粘り強さに苦しめられました。しかし、強打者の多い北九州、4回裏で流れをつかむと瞬く間に4得点を取得。そのまま勝利を収めました。



岡山VS広島

14対1 岡山勝利

第1試合から絶好調な岡山。1回表で3得点を奪います。中四国大会でもいつも対戦している2チーム。広島も負けずに1点を取り返しますが、そのまま押し切られてしまいました。広島も最後まで諦めず全力投球で試合に向き合いました。



名古屋VS東京B

4対4 東京勝利

前回優勝チームの名古屋に対して、3回裏で4点取得し、2点リードを成し遂げた東京。

その後、5回裏で名古屋に2点奪われ同点となってしまいましたが、同点じゃんけんで勝利し、準決勝にコマを進めました。



京都VS東京B

7対0 京都勝利

京都が1回に2点、2回には5点と大きく点を引き離し、試合の流れをつかみました。

必死に追いつこうとする東京でしたが、点にはつながらず準決勝で敗退となりました。



北九州VS岡山

2対6 岡山勝利

大会上位常連の強豪同士のぶつかり合いで注目を集めたこの試合。北九州は最終回表で2点取得し、同点に追いつきましたが、続く裏で岡山の猛攻撃に耐え切れず4失点。決勝へと進むチームは岡山になりました。



決勝

final

京都VS岡山

今まで全国大会に18回出場している京都ですが、決勝まで来たのは今回が初となります。また、岡山も春の初優勝が掛かっていて両者にとって負けられない戦いとなります。観客がかたずをのんで見守る中、はじめた決勝は、岡山が1回、2回で合わせて19点を獲得し、終始試合のペースを握る結果となりました。京都は3回裏で全身全霊で1点を勝ち取り、観客を沸かせましたが敗北。1対19で岡山の春の大会初優勝となりました。





優勝 岡山桃太郎

春の全国大会悲願の
初優勝！
秋の大会にも勝ち
“年間無敗”を目指す



準優勝 京都ビアーフレンズ

春の全国大会初準優勝！
さらに練習を重ねて来年の
優勝を目指す

第31回全国身体障害者野球大会

大会結果

01

岡山桃太郎

優勝

04

優秀選手 稲 翼

京都ビアーフレンズ

02

京都ビアーフレンズ

準優勝

05

殊勲賞 高月 秀明・秋本 翔馬

岡山 ・ 京都

03

最優秀選手 浅野 僚也

岡山桃太郎

06

敢闘賞 荒田 茂靖・上之脇 暖人

岡山 ・ 京都

応援ありがとうございました

コロナ禍のなか障害者が外に出る機会がますます減ってしまった2年。
練習もなかなかできないチームの悩みが多く寄せられていました。
今大会を従来通りのかたちで実施できたのは、多くの方のご協力と御協賛のおかげです。
この大会に初めて参加した選手から、感動と御礼が届いて、運営一同嬉しい気持ちでいっぱいです。
一人でも多くの障がい者が野球と出会い、生きていく喜びを見つけられるよう
今後も尽力してまいりますので、応援よろしくお願いいたします。

ENEOS 株式会社様

ENEOS 応援サポーターの皆さま

株式会社
FOOD & LIFE
COMPANIES 様

神戸市立若葉学園様

MLB JAPAN 様

ゼット株式会社
様

神戸トヨペット
株式会社様

株式会社
浅沼組様

ダイワマルエス
株式会社様

Japan Dream League Baseball



facebook



instagram

<https://www.instagram.com/japan.dream.baseball/>



Our Mission

1	東京ジャイアンツ
2	京都ビアーフレンズ
3	千葉ドリームスター
4	高知ニューフレンズ
5	名古屋ビクトリー
6	阪和ファイターズ
7	神戸コスモス
8	東京ブルーサンダース
9	北九州フューチャーズ
10	仙台福祉メイツ
11	福島アクロス
12	ぎふ清流野球クラブ
13	岡山桃太郎
14	滋賀ビッグレーク
15	龍野アルカディア
16	広島アローズ

The diagram illustrates the tournament's progress through four rounds:

- Round 1:** Teams 1-4 advance; Teams 5-8 are eliminated.
- Round 2:** Teams 1-4 advance; Teams 5-8 are eliminated.
- Round 3:** Teams 1-4 advance; Teams 5-8 are eliminated.
- Final Round:** Team 1 (Hiroshima A-Rose) wins against Team 2 (Tokyo Giants).

The final winner is highlighted in a red box on the right side of the diagram.